

## 有料道路部会の審議状況について

- 第1回（12/4） ・ 有料道路の経緯・現状と課題について
- 第2回（1/25） ・ 日本自動車連盟（JAF）アンケートについて  
・ 高速道路料金・割引の現状と課題について
- 第3回（2/20） ・ 高速道路の有効活用について  
・ 高速道路の有効活用にあたっての料金の考え方について  
・ 大都市圏の料金体系について
- 第4回（3/30） ・ これまでの議論の整理  
・ 料金社会実験について
- 第5回（5/31） ・ トラック運送事業者の高速道路の利用実態について  
（（社）全日本トラック協会アンケート）  
・ これまでの議論を踏まえた委員からの意見  
・ 高速道路ストックの機能強化の課題

# 高速道路ネットワークの有効活用

参考

## <有料道路制度の経緯>

- 道路ネットワークの決定的な不足
- 財政資金の欠乏
- ↓
- 無料公開原則の例外としての有料道路制度  
(借入金による建設と料金収入による償還)
- 料金の原則としては、償還主義、公正妥当主義、便益主義
- ↓
- 路線延長の伸びを最優先
- 整備の経緯により料金設定が固定的



## ETCの普及

- ETC利用率が全国平均65%を超え、多くの利用者の時間別・ルート別の把握が可能に
- ↓
- 多様で弾力的な料金設定(時間帯別、頻度別、経路別の割引)が可能
- 都市高速(出口料金所無し)において、距離に応じた料金の徴収が可能

## <高速道路の現状>

- 合計約10,000kmの有料道路ストック(全国路線網8,204km、地域路線網690km等)が形成
- 高速道路の特長 → 安全で、環境に優しい道路  
(事故発生率、CO2排出量が一般道に比べ僅か)
- ただし、
- 利用状況にばらつきが発生
  - ・一般道が混雑する一方で並行する高速道路が活用されていない区間が存在
  - ・同じ路線でも、時間帯により混雑と閑散の差が大 等
- 長いIC間、2車線での暫定整備、最小限の修繕

## 高速道路を取り巻く社会経済情勢

- 東アジア諸国等との交流・競争が拡大する中で、成長力の維持・増進の必要
- 地域の自立的活力の増進の必要
- 環境問題への社会的関心の高まり
- 国民の安全・安心への意識の高まり
- 料金引下げを求める利用者の声

既存ネットワークの有効活用が必要かつ可能

料金を通じた効率的活用

高速道路の機能強化

# 高速道路ストックの有効活用の課題等

参考

高速道路を取り巻く  
社会経済情勢

○東アジア諸国等との交流・競争が拡大する中で、成長力の維持・増進の必要  
○環境問題への社会的関心の高まり  
○国民の安全・安心への意識の高まり  
○地域の自立的活力の増進の必要

## 交通の課題(現状)

### ○大都市圏ネットワークの課題

- ・大都市中心部に通過交通を含め交通が集中
- ・都市内交通が高速道路を効率的に活用できない
- ・高速道路、一般道が共に渋滞

### ○地方圏ネットワーク(全国路線網)の課題

- ・高速道路において、平日・休日とも朝夕に利用が集中する一方、夜間には余裕がある
- ・高速道路において、休日に、特定の区間で渋滞が発生
- ・一般道において、平日の朝夕、休日の昼間に利用が集中し混雑が発生
- ・一般道において、大型車は昼夜を問わず一定交通量が走行

このことから、高速道路・一般道における、走行速度の低下、地球環境への負荷の上昇、沿道環境の悪化、交通事故の増加等の問題が発生

### ○その他、長いIC間、2車線での暫定整備 等



## 料金の課題(現状)

### ○新たに生じた(生じつつある)状況への対応

- ・整備されつつある環状道路への経路誘導などネットワークに対応した料金となっていない
- ・都市高速道路網の拡充に伴い、均一料金制を採っている都市高速において利用距離のばらつきが拡大し不公平感も拡大
- ・ETCの普及により多様で弾力的な料金設定が可能となってきたが、交通の課題に対応するため更にこれを進める余地が残っている等

### ○会社の混在や整備の経緯によるばらつき等

- ・割高感のある料金水準
- ・料金体系や料金水準のばらつき
- ・会社間を乗り継ぐ場合に長距離低減が途切れることやターミナルチャージを複数回徴収されることへの割高感
- ・路線によって適用される割引にばらつき
- ・特別区間料金に対する不満 等

## 課題に対する考え方

### 既存高速ネットワークの有効活用により、

#### ○大都市圏ネットワーク

- ・環状道路を有効活用し、経路選択の自由度の拡大により交通を分散、都市高速の距離に応じた料金への移行 等

#### ○地方圏ネットワーク(全国路線網)

- ・夜間の高速道路の更なる活用、高速道路の特定の渋滞区間への対応、休日の昼間の高速道路の活用 等

### 一般道を含む道路ネットワークの効用を最大化し、

- ↓ 走行費用の低減、定時性の確保、沿道環境の改善、安全性の向上等

### 我が国の抱える諸課題への対応を図る

都市部の深刻な渋滞の解消、地域活性化の支援、物流の効率化

## 有料道路部会における議論

1. 高速道路ネットワークの有効活用とその方向性
  - 大都市圏における今後のネットワーク型料金のあり方、首都高・阪高の距離に応じた料金導入の意義及びあり方
  - 地方圏ネットワーク(全国路線網)の課題に対応した料金のあり方
  - その他、高速道路を有効活用するための問題点への対応
2. 高速道路を有効活用するための料金設定と償還主義・公正妥当主義の関係
3. 高速道路を有効活用するための料金設定における受益と負担の関係
4. その他(会社の金利リスク 等)